



医療法人近森会

発行 ● 2007年6月25日

www.chikamori.com
www.近森病院.com

ひろっぱ 7

252

〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者●近森正幸/事務局●川添昇

近森会 教育研修管理委員会発足 2007年5月

近森会知的財産の一元管理

委員長/近森病院副院長

北村 龍彦

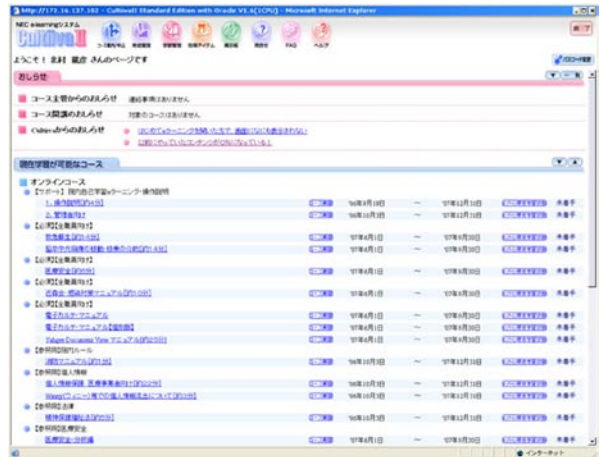


近森会では医療の質と安全の向上のために、医師はじめ全職種の新入職員のオリエンテーションと教育・研修が関係各位の協力のもとに実施されています。

それと同時にキャリアを積んだ職員も最新の医学知識を身につけ、近森会の標準的な手順や取り決めを遵守し、業務の熟練度を増し、個人の資質を向上させることや、キャリア形成のために各種資格を取得することも重要な課題となっています。

また、近森会の各病院で、各職種・各部署・各委員会が教育・研修・講演会・講習会などの計画を各々が立案し、

実施しており、これらの行事の開催日時や開催場所、内容などを一元管理し、全職員で共有できる体制の整備が必要でした。そして、業務手順や教育内容に近森会の各病院及び職種・部署間で共通の部分と個別の部分が存在しているのも事実です。これら共通部分は統一し、個別部分は情報共有し、近森会の知的財産を一元的にデータベース化し、管理する部門も



未整備であり、上記のような業務の管理を目的として、近森会教育研修管理委員会が2007年5月に発足しました。

近森会で開催される教育的行事が重複せずスムーズなキャリア形成に寄与できるような体制を構築、維持し、内部統制管理も含めた活動を行う組織です。

この委員会に各病院の代表者が出席し、近森会教育マネジメントシステム委員会 (CEMS 委員会) をタスクフォース (いわば特別作業チーム) として充実させ、上記の目的を達成していく予定です。

近森会教育マネジメントシステム (CEMS: Chikamori Education Management System) については、昨年の『ひろっぱ』8月号でも既に紹介しましたが、近森会の医療情報システム CMIS (Chikamori Medical Information System) の端末 (735台) すべてで自己学習できるシステムです。コンテンツ (内容) の充実と、管理体制の整備を図り、2007年6月1日から運用を開始しています。この1カ月間は管理者にもこのナレッジマネジメントシステム (いわば知識の共有化により効率化を図るというシステム) に慣れていただき、7月から管理者向け講習会を開催し、各個人や所属部署単位での進捗管理を行っていた

※次頁へ

介護からの撤退



近森 正幸

このほど在宅総合ケアセンター (在総) におけるショートステイを中心とした入所、通所リハを7月までに廃止することになりました。これまで利用していただいていた方々には突然のことで、ご迷惑やご不便をおかけすることになり、たいへん申し訳なく思っています。

昨年4月の介護報酬で大幅な切り下げがあったが、これは民間の介護施設にとっては、たいへんなことで、在総が取り組んできた重度の方の通所やショートステイを続けることが、採算面で不可能になってしまいました。質の高いサービスを提供すればするほど、年間一億数千万の

赤字を抱えることになります。

奇しくも同じ日の紙面にコムスの不祥事が報じられていたが、民間企業であっても介護保険で利益を上げ続けるには不正やごまかしをせざるを得ないことを示しています。介護サービスの内容や提供しているサービスの質に関係なく、介護報酬を決められていることから、こうした問題が起こっているのではないかと。介護保険の制度設計自体に欠陥があるように思えてならない。

近森会としても必死に努力を重ねてきたが、昨年4月の改定で、限界にきていた在総を断腸の思いで閉めざるを得なくなりました。

在総の後には整形外科専門のリハビリテーション病院を開設、一般病棟40床、回復期リハビリ病棟60床の100床の病院を立ち上げる予定をしています。

介護サービスは地域の事業所や施設にお願いし、今後は医療に専念していきたいと思っています。

理事長・ちかもり まさゆき

※前頁より

だく予定です。

我々近森会の職員が、医療者として

の職責を全うし、安心安全な医療提供のために貢献できるような基盤づくりと維持管理を行うために、委員会活動

を精力的に行いたいと考えております。今後ともご協力をよろしく願いたします。

第7回 公開県民講座 形成外科ってご存知ですか？

皮膚の color から考える

2007年6月2日に高知県民文化ホール・グリーンで開催

今回は、『形成外科ってご存知ですか？ー皮膚の color から考えるー』をキャッチ・コピーに、しみやアザなど今話題のメラノサイト系の色素斑について杉田形成外科科長。当院で扱っている美白ハイドロキノン化粧品について薬剤部西山先生。色素の異常と全身疾患について高知大学皮膚科中島先生。あざ治療目的のメーキャップについて資生堂大城先生。形成外科については私が講師で、講演を行いました。

当日は、講演の他に、近森病院のこうした地域活動に賛同頂いた企業（資生堂・ジェイメック・キャンデラ）の展示や形成外科相談コーナーも好評で、多くの人を取り囲み、順番待ちの列が出来る程でした。KUTVを通じての広報活動や取材などもあり盛況の下に、講演会を終えることができました。

近森病院 形成外科部長 赤松 順

▼スタッフの皆さん、お疲れさまでした



撮影 Dr.山本彰

講演を聴き、形成外科を受診頂いた方からは、素人にもわかり易く、途中で退席する人も無く、次回の講演会もぜひ聴講したいとの声がありました。

他の多くの行事の中、ご協力頂いた近森会職員スタッフは、日常業務の他に様々な特技を持ち、高い集中力で、臨機応変に、一丸となって目標に向かって進む能力の高いことを、改めて痛感しました。

皆様、本当にご苦労様でした。

順

形成外科医キャラクターの「私」も好評でした！

画 赤松佳子(妻)



講師を務める赤松部長

NPO 再生医療推進センター主催

市民公開講座

アルツハイマー病と再生医療についての講演

2007年5月19日、高新文化ホールで



NPO 再生医療推進センター主催、近森病院共催で市民公開講座が開催されました。

NPO 再生医療推進センター理事長の井上一知先生が再生医療について説明され、日本シェーリングリサーチセンターの桜田一洋センター長より、「アルツハイマー病と再生医療の取り組み」と題しての講演がありました。

実際にご家族を介護されている方からの質問も活発に出され、満席のなか盛会に終わりました。また懇親会では来年も開催することを約束して、おおいに盛り上がりました。

5年前から休日を利用して親子三人で四国八十八カ所めぐりを始めました。それが、今年の5月の連休に高野山に行きやっと完結を迎えました。

時間はかかりましたがいい思い出になりました。一人娘も行き始めた頃はしゃべるのもやっとでしたが、今では時々私の方が諭されたり、励まされたりするほどに成長しました。月日の流れは早いなあとしみじみ思う今日この頃です。

行き始めた頃はあんまり乗り気ではなかったのですが完結してみると時間と余裕があればもう一度廻ってみたいと思います。色々な出会い・人の生き様・自然の大切さ等色々考えさせられるいい経験が出来たと思います。

高野山の偉大すぎるほどの静寂を思い出し、今後は、心に余裕をもって仕事ができたらいいと思います。皆さんも一度どうですか？



近森病院 3階西病棟看護師長

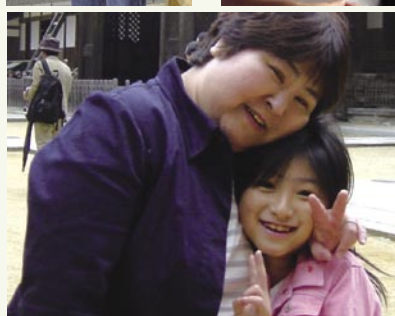
松岡 正美

5年でやっと完結



04年5月18日、75番普通寺で

2002年6月17日、21番太龍寺で、娘しずく・3歳



2007年5月、あゝ嬉しい、とうとう高野山！

高知市北部地域 高齢者支援センター えのくち出張所



中西洋子さん

本当に求められる活動

さ

大原隆志さん



江ノ口西民生児童委員協議会で説明に立つ大原 SW



意外に高い江ノ口地区の高齢化率

65歳以上の総人口に占める割合を示す高齢化率が高知市は21.2%で全国平均程度ではあるが、江ノ口地区に限ってみれば、西地区28.4%、東地区23.3%となっており、高齢者の割合は意外に高い。

なぜ出張所に二名の配置が必要か

介護保険の改正により、H18年4月、高知市は市内4カ所に「高知市地域高齢者支援センター」を設置し、地域の身近な相談窓口として17カ所の出張所を置いた。各出張所は高知市が医療法人や社会福祉法人に委託しているもので、「えのくち出張所」もその一つ。市の委託金では職員一名を設置するのが精いっぱいであるが、それでは地域リハビリテーションの十分な実践が難しいし、地区の高齢者をカバーしきれないということで、近森会では中西・大原の二名の医療職を配置している。

活動目標と、具体的な動き

「生活に困難を伴う高齢者の生活支援や、住民が安心して暮らせる町づくりを含む地域リハビリテーション活動を実践すること」が活動目標である。

具体的には、高知市には未だ存在しない特定高齢者の介護予防サービスを地域で展開するために、「いきいき百歳体操」を10カ所で開設。

また、民生委員協議会への出席や事例報告、社協の活動や江ノ口まつりへの参加、高齢者と小学生との交流会を開催するなど挙げればキリがない。地域リハビリテーションはここまでやれば完成というようなラインが引けるものではむろんないが、さすがにベテラン医療職は、地域へ溶け込む効率的な術を心得ている。

地域の皆さまとつながるために…

江ノ口西地区民生児童委員協議会の福留一男会長には、折に触れ相談を持ちかけ、「うんと頼りになる会長さんで話が早い」と、二人には有難い存在になっている。福留会長にしても「二人は地区をこまめに廻って高齢者の情報を把握してくれちゅう!病院職員と

いう専門性を活かして、より細かに地域をみていってほしい!」と期待を寄せる。



近澤利衛分団長

福留一男会長

一方、高知市消防局江ノ口分団の近澤利衛分団長は、個人の顔が見えにくい町の中での希薄な人間関係の難しさは覚えつつも、自主防災組織の必要性を強調する。中西・大原両氏が、弱者を助ける仕事をしているのを見て「これが貴方らあの仕事でね!助かるよ~!!」とエールを送ったそうだ。

「地域に入り込んで本当に役立つ活動を続けます」と、中西・大原両氏はカッチリ計画を立て、動き回っている。

院外エッセイ

将軍家光の病

土佐山内家宝物資料館

館長 渡部 淳

わたなべ じゅん

1962年大分県生まれ。専門は日本近世史。

著書に、『検証山内一豊伝説-「内助の功」と「大出世」の虚実-』（講談社現代新書2005年）他。



いまから400年ほど前、徳川三代将軍家光の時代のことである。

「大老」とか「老中」など、我々が聞きなれた江戸幕府の職制は、このころ急速に整備された。その原因には、成立後30年が過ぎた幕府自体に、全国支配のシステムを改めて整備する時期が来ていたということもある。これに加えて、近年ではその原因を家光の心身状態に求める説もでてきている。

家光は生来病弱で、将軍になってからも健康が勝れない時期がしばしばあった。史料には「虫気」「吐逆」「霍乱」などの病名が確認できる。「虫気」とは腹痛を伴う腹部の病気、「吐逆」は食物の胃から口への不随意的な逆流、「霍乱」は今日云う急性腸カタルのことらしい。原因の多くは飲酒によるものである。家光の病気はこれにとどまらない。山内家史料によれば、寛永14年(1637)には、「虫気」がひきかねとなって不食、不眠、発熱、無気力などの「御心重き」鬱状態に陥ったという。家光は直ちに飲酒を止め、灸や投薬による治療を続けるが、効果はは

かばかしくなく、政務から離れること頻繁であった。将軍の大病である。しかも、病の家光から発せられる指令は、例えば、それまで改易(領地没収)で済んでいたものが切腹を命じられるなど、普段より厳しいものであった。そうすると、幕閣も諸大名も息を潜め、政治は停滞せざるをえない。これを克服するために、将軍の動きに関係なく動く政治組織への改変が必要になる。かくして、老中などの幕府職制が整備されるわけである。家光が目指した将軍親政は、自らの病によって変更を余儀なくされ、それによって整備された職制がそれ以後の基本となったのである。

歴史において、政治や社会のありかたと権力者の個人的事情や個性の関係を如何に考えるかは難しい課題である。個性はあくまで個人的なものなのか、あるいは時代の産物なのか、そして、特異な個性が時代を変えうるのか。ここで紹介したのは、権力者の病が政治に影響を及ぼした一事例である。

第74回 救急医療症例検討会のご報告

事故災害あるいは南海地震に備え、消防、警察、行政、医療の連携の重要性を改めて認識

近森病院 ER 部長 根岸 正 敏

高知赤十字病院、愛宕病院、近森病院と3病院の持ち回りで開催されている症例検討会も74回目を迎えました。

今回は近森病院の当番で2症例の事後検証が行われました。

1 例目は作業中の転倒での千枚通しによる心臓刺傷でした。搬送担当の救急隊員からの経過説明の後、心臓血管外科の藤田康文医師から手術ビデオを交えた経過・治療報告がありました。

ホットラインでの救急隊員と救急医との情報交換により病院着後に直ちに診断がなされ、無事に救命された症例でした。

2 例目は、高所からの転落による頸椎骨折の症例でした。救急隊員の報告と整形外科の大野尚徳医師による経過・治療報告がありました。

救急隊員の説明に応じず、患者さんは救急車から歩いてERへと移動しましたが、医師による説得の後に、迅速な頸椎保護と検査により早期診断、治療が行われ脊髄損傷を免れた症例でした。

その後、ERの井原則之科長による「事故災害における医療と消防の連携」の講義がありました。

事故災害あるいは南海地震に備え、消防、警察、行政、医療の連携の重要性を改めて認識させられた、まさにタイムリーな講義でした。

今後も救急隊と連携し高知県の救急

医療向上のために努力していきたいと思
います。



左から根岸正敏 ER 部長、竹内敦子 ER 医師、藤田康文心臓血管外科医師、東消防署三里出張所・石元洋世救急救命士、井原則之 ER 科長、南消防署長浜出張所・藤原英司救急救命士、大野尚徳医師、村田美和 ER 主任

第38回地域医療講演会の報告

7月からクリパスは電子カルテ運用へ

2007年6月1日、管理棟5階会議室で

クリニカルパス委員会委員長／脳神経外科部長 高橋 潔

橋本市民病院の西口孝先生、金桂洙先生、柏谷恵子先生のお三方をお迎えして電子カルテの講演会を開催しました。院外66名、院内64名の参加者で開催されました。

橋本市民病院は NEC の最も新しい電子カルテシステム MegaOakHR が稼働している病院です。ここでの運用等を参考にバージョンアップした形のもの が来年秋には当院にも導入される予定です。残念ながらパスシステムはまだ稼働前でしたが、新しい指示出し指示受けシステムや記録時間の短縮の工夫などいろいろ学ぶ点がありました。

外来での待ち時間の短縮など有用なツールもありますが、電子カルテシステム自体、まだどの会社のシステムも進化の途中で、いかに各病院で運用を効率的に行うかが問題です。労働生産性をあげ効率的治療を展開するには必須のアイテムですので、完成していない電子カルテなど使っていただけないと



左端に北村龍彦副院長、右端に高橋潔部長が講師のお三方を囲み、左から柏谷恵子副看護部長、西口孝副院長、金桂洙眼科医長

はいえない状況です。

当院のクリニカルパスは7月から電子カルテでの運用を始めたいと思っています。残念ながら NEC のシステムは使えませんので、ヤギーのシステムで作成中です。文書連携などの新しいツールを搭載しながら使い勝手は現状の紙パスをそのまま使えるシステムで運用を始める予定です。完成していないシステムですがなんとか使いこなして行きたいと思っています。

ハッスル研修医・第2回

本人はいつも一生懸命(なはず)です。でも毎朝、カンファレンスのたびに先生方につっこまれます。本人は一生懸命覚えているはずなのですが、実際に患者さんの前に行くとき忘れてしまっていることが多々あります。記憶の半減期が相当短い。たまたま「自分、アホなんじゃないか？」って思います。本人は少しでもスタッフの方々の役に立ちたいと一生懸命考えています。でもたまたま「お前はホント気が利かないなあ」って言われます。本人は少しへこんでいます。でもそんな記憶の半減期も短いのでちょっとお得です。

大学ではひたすらサッカーをやっ

ボクの記憶の半減期！？

研修医 檀 浦 宏 基



いました。ポジションはゴールキーパーでした。大学では色んな意味で最終ラインを形成していました。試験が終わるたびに先生に呼び出されていました。

そんな私も近森病院での研修が始まって早1カ月以上が経とうとしています。家にはまだ引っ越しのときから手をつけていないダンボールが2,3個あり

ます。ようやく高知での生活にも慣れてきましたが、先生方を見ていて、それほど長くない数年後にあのような姿になれているのかとっても不安です。

もうひとつささいな不安ですが、筑波から高知へ来るときの高速道路で無人のスピード違反取り締まり装置がこれでもかかってくらい光ったことです。今でもドキドキしてポストを開いています。

こんな何もできず皆さんに迷惑ばかりかけている自分ですが、少しでも皆さんの役に立てるように頑張りたいと考えています。どうぞ、これからもよろしくお願いいたします。

四国管財株式会社 お客様係り&ディレクター

松野 武彦

◀子ども大好き!▶
スタッフの皆さん



保育室のそと

当社自体は16年間自社託児所を運営していたというノウハウはありました。とはいえ、まさか自分が保育室も担当することになるとは……、と驚きましたが、近森会様の理念を实践される職員の皆様が、安全で安心して快適に利用できる保育室がいかにか重要かを理解し、当社の経営理念や価値観を保育士の方に毎日伝えてまいりました。

毎日が勉強で改善することばかりでしたが、日にちが経つにつれて名前の無かった保育室は『そと』となり、



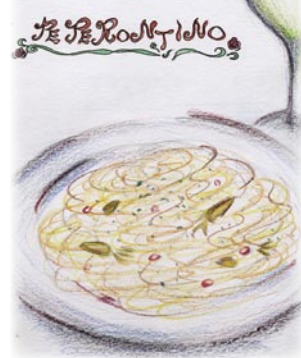
◀壁には毎日の給食メニュー 託児所だより『すくすく』も発刊することができるようになっています。そして保護者の方からも少しずつお褒めもいただけるようになり、保育士の皆さん方は益々笑顔が素敵になってきてくれています。

今後の目標は、具体的な学習プログラムを構築して保護者の皆様が、近森会様の目指すより一層に質の高い医療サービスに専念していただけますように、会社を挙げて取り組む所存でございます。

続 管理部長のキャン

こだわり料理 20

川添 昇



ペペロンチーノ

小イカの

画 山本真里
(第一分院医療相談室
医療ソーシャルワーカー)

炭水化物は肥満の大敵だと言われているが、メン食いの男に悪い男は居ない！などと言い訳をしながらよく食べている。最近のお気に入り、十一屋のカレーうどん。和風ダシのきいたカレーのおつゆに豚バラ肉とタマネギがたっぷり入っている。おつゆのハネを防ぐためにハンカチをネクタイの上からかけてフーフーしながら食べているおじさんの姿は暑いさな滑稽かもしれない。

さて、今回のペペロンチーノは本来具材は何も入れないシンプルなものだが、春から夏が旬の新鮮な小イカが店頭にあったので取り合わせてみた。

材料 (2人分)

- ①スパゲティ (太さ 1.4mm ぐらい) 140g
- ②小イカ 1パック (200g ぐらい?)
- ③んにく 1かけ
- ④赤とうがらし (小) 2本 ~ 3本
- ⑤パセリ 1房
- ⑥エクストラバージンオリーブオイル 大サジ2
- ⑦粒こしょう、かきしょう油 適宜

作り方

- ①スパゲティをゆで始める。
 - ②イカの足を取り、胴の中のワタ、スミと軟骨を取り除き、水でよく洗ってキッチンペーパーで水気を切っておく。胴が大きいようだと食べやすい大きさに切る。
 - ③フライパンにオリーブ油とんにくみじん切り、赤とうがらしを入れ中火にかける。—これがすべてのスパゲティ材料の基本—んにくはキツネ色になるまで焦がさないようにいためる。
 - ④③に②を投入し、火が通りやすいので素早く粒こしょうとかきしょう油で味をととのえパセリのみじん切りとともにスパゲティをからめ皿に盛り合わせる。
- ※今回の小イカは須崎産である。御豊瀬産のは少し種類は違うが、瀬戸のイタリアレストラんでソテーとして出されるものも美味しい。小イカの濃厚な旨味がスパゲティにからみ合って、よく冷えた白ワインと共に食すともう最高である。

リレーエッセイ

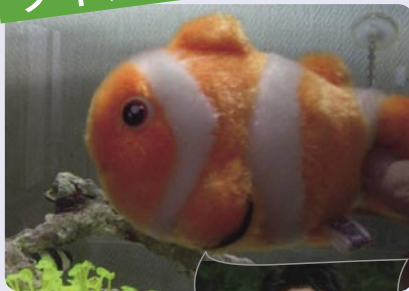
熱帯魚から海水魚へ

高校時代に熱帯魚の飼育を始めて最初はネオンテトラやエンゼルフィッシュを泳がせていましたが、だんだん欲がでてきて、次はシルバーアロワナを飼うようになり、毎日の餌やりを楽しんでいた頃がありました。

大人になりあの頃の楽しみを求め、高校時代に憧れていた海水魚の飼育に挑戦しました。最初は何も分からないため、店員さんに教えてもらいながら水槽や塩、砂利や比重計を購入しました。自宅で海水を作り一週間程して魚の購入に心躍りながら向かいました。魚はもちろんファインディング・ニモという映画の主人公カクレマンノミで、マーリンとニモの親子を演出するため2匹を購入しました。2匹で泳いでいる様子は映画のワンシーンのようで、映画ファンの私にとっては最高の気分、帰宅しては水槽を常に眺めていました。

数日後この魚達ともお別れになり、今はスズメダイという魚を2匹飼っています。お掃除役のコケ取り貝や

ワインの優雅な休日



診療支援部
企画情報室
隅田 誠



更にはエビまで購入して賑やかになりました。最近はこのエビに餌を与えると水面まで上がってきて嬉しそうに食べています。まるでTVドラマの探偵のように……。

最近、県外で暮らしている親友に海水魚の飼育を始めたことを伝えると「美味しいのは鯖やなあ」と言われ、私が水槽で自給自足を始めたなどお笑いのネタにしているようです。いずれは病院フロアの水槽に負けないような水槽にして、ワイン片手に優雅な休日を送りたいものです。

出張報告 ● CT コロノグラフィーの勉強および
放射線検査を受けた患者さんからの相談というセミナーに参加

診断の質を担保した上で、より低線量の 撮影に努めていることが、安全性を説明 する際の自信に繋がる

井土 貴史(左) 田中 宏親(右)



いことをきちんと説明することが大事。

これは複数の放射線検査を短期間で
受けた患者さんに対しても同様で、イン
フォームドコンセントの大事さと必要
性を改めて実感するセミナーとなり
ました。

我々、放射線技師は、日常的に医師・
看護師とコミュニケーションをとり、
診断の質を担保した上でより低線量の
撮影に努めていることが、安全性を説
明する際の自信に繋がると報告があり
ました。

近森病院の放射線検査でも、低線量
の撮影に努めております。検査前後で
不安や疑問に思うことがありましたら、
ささいなことでもかまいませんので気
軽に相談してください。

CT コロノグラフィーというのは、CT
で撮影した画像を元に大腸内視鏡検査
を行ったような画像を作り、それを使っ
て大腸に病気がないかどうかを判断す
る検査です。

バーチャル内視鏡検査とでも言いま
しょうか、近年 CT の性能向上に伴い
きた新しい検査法です。欧米では頻繁
に行われているようです。

検査を受ける前の処置は内視鏡検査
と一緒に消化管内をきれいにするため
に下剤を飲んでもらい、内視鏡を肛門
から入れる代わりに大腸が膨れる程度
空気を注入し、仰向けとうつぶせそれ
ぞれを CT で撮影します。近森病院では
まだこの検査は行っていませんが、近
いうちに始める?かも知れません。皆
さんもうですか?

放射線検査を受けた患者さんからの
相談というセミナーでは、小児患者の
両親、妊娠に気づかないで検査を受け
た妊婦さん、複数の放射線検査を短期
間で受けた患者さんという3つが大き
な割合を占めるという相談が主で、無
駄な放射線を浴びたと誤解しているこ
とが多いということでした。

小児患者の両親や妊婦さんには、無
駄な放射線を浴びせる検査などはしな



救急医とは?

自問自答しつつ...

ER (救急センター) 科長

井原 則之



防災グッズに身を包む井原科長
(撮影は西本陽史・脳神経外科 Dr)

6月1日付で ER 科長を拝命致しま
した。4月に近森病院に赴任してから
3ヵ月、根岸部長と竹内医師、多くの
看護師さんや福井救急救命士らとと
もに、搬入されてくる救急車の患者
さんに対応しております。

救急医療が全国的に重要視される
一方で、救急専従医の概念・役割は今
ひとつパツとしない印象があります。
私もこれに対して明確な答えが出せ
ないのですが、今の自分の役割はとに
かく迅速・正確に傷病者の全身を評価
し、外来で可能な処置・蘇生を行って
各科の専門の先生に引き継ぐことと
考え、日常診療に力を入れながら、関
連する様々な新しい知識を吸収する
よう心がけています。

既に6月よりドクターカー運用が始
まり、7月からピックアップ型ドクター
ヘリの運用開始が予定されています。

災害医療分野でも高知県・四国の体
制構築に向けて努力中です。皆様のお
力を借りつつ、今後も鋭意努力を重ね
ていきたいと思っておりますので、どうぞ
よろしくお願い致します。

南大揮 Dr

ただいま後期研修中
プライマリケアと救急
を中心とした総合誌・
月刊『レジデントノ
ート』07年5月号に、
精力的に活動する
南Drが紹介されま
した。ご一読を!



昔は 陰と陽 でしたが...笑

私のこの一枚は、小さいころの
姉と私です。姉と私は三つ違いで、
小さいころ、いつも姉の後ろばかり
ついて歩いていました。姉はいつ
も外で遊び、みんなの中心的存在
でした。一方、私はどちらかとい
うとインドア派で、対照的な姉
妹だったと思います。

思春期のころには、よく喧嘩も
しましたが、大人になっていくう
ちに、どんどん仲がよくなって
きました。

そんな姉もいまでは二児の母で
す。そして、最近の私の休日は、
姪と甥と遊ぶことが楽しみとなっ
ています。



姉にそっくりの甥っ子と今の私

ヘルパー
ステーション
えのくち
吉岡
梨香



チャキチャキの外来娘 はチカモリが大好き!

「近森病院勤務の思い出はこの一冊とともに…」ということで、北川看護師が中心になって退職スタッフにアルバムを贈り始めて、すでに十数冊が完成している。周りのスタッフにもカードを書いてもらい回収し、大勢の写真を撮り、整理して切って貼ってと、なかなか手間がかかっている。クレークさんたちにも協力を得つつ、「独身なので自由がききますし」と、なにごとにつけ手間を惜しまないのが身上だ。

学生からずっと近森病院勤務でキャリアはすでに15年になる。いつでも外来付近にテキパキ動く姿があるという印象だが、それもその筈、「ずっと外来で病棟にあがったことがない」という、チャキチャキの近森外来娘なのだ。

室戸市吉良川町で近所の羽根医院に勤める母親を身近に見て育ったから、看護の道には極めて自然に進むことになり、「偏差値と相談しつつ目の前の選択肢に従ってきた」。

「専門性という点では自信がありませんが」と謙遜しつつも、「外来部門は色々な患者さんが看れ、守備範囲を拡げられるし、とっても勉強になっています」と、今後とも外来で頑張りたいようだ。

ところで、やる気も元気も意欲もあるが、「二十代はオールナイトで仕事をして平気やったのに、この頃は疲れ具合が違う(笑)」ことを実感し始めた。強さや若さで我が道をまっしぐらに進んでいた自分と、体力の衰えを少しだが実感し始めた現在では、患者さんや周りへの対応にも変化が出ているようだ。「けっこう尖っていた部分もあったかも知れませんが、だんだん丸うなってきたように思ってますよ〜」。こんな風に言え出したとは、ホントきっと人間が丸うなってきたのだろう。北川看護師に縁を持つことになる患者さんもラッキー! だろう。

ひとつの職場で長く務まるとするのは、北川さんによると、どういう仕事

内容かということもさることながら、やっぱり人間関係の比重が大きく、「私は人間関係の良さのおかげでここまで来ました」と、その点を強調したいという。チカモリが大好き! なのだ。

和田道子師長や村田美和主任を始め、諸先輩方に、「優しいけれど、ダメなことはダメとピシッと言ってもらえるから、ここでずっとやっていて自分を高められると思える」。こんな安心感や信頼感がベースにあるからこそ、夕方から仕事して夜中じゅう働いて朝帰りなどという、体力的にはきつい部署でも



ずっと楽しくやってこられたのだろう。

そうそう、頑張れる素がまだあった。国民的スターとでもいえばいいのか、若者の歌のグループ「スマップ」の中居くんが大好きで、県外までライブコンサートに出かける「追っかけ」もずっと続けているのだそう。タレントの写真を撮って切り抜いてアルバムを作ったり、ファンクラブで見せっこしたりと、まるで女学生のような可愛らしさも持ち合わせる中堅看護師は、そろそろ結婚も、という頃かも知れないが、「こればかりは縁のものですから、私がどうこう言っても始まりません!」と、やっぱり歯切れが良くて気持ちがいい。花嫁姿が楽しみだなあ!

趣味のひとつはアルバム作り。退職スタッフの思い出作りの一環として始め、すでに十数冊。とっても嬉しい記念!



医療安全シリーズ⑦

医療安全担当看護師長 青木千利

二人の会話

「二台目の連絡バスで、お二人を機内にご案内致しますので暫くお待ち下さい」。地上勤務アテンダントの説明を受け、車椅子のご婦人に付き添っていた初老期の男性は移動までに時間があると判断されたのだろう、ご婦人をその場に残したままトイレに向かった。その直後、「先にご案内します」と美しい笑顔と声で、地上勤務アテンダントがご婦人の車椅子を押し、視界から遠のいた。なされるままに、何も言わず後ろを振り返るご婦人。

戻ってこられた男性は、待合室の椅子に残された荷物だけ発見し呆然としていたが、まもなく現れた係りの方に急かされるように、ご婦人と同じゲートをくぐって行った。

僅か数分間の出来事が、「説明と同意」「接遇教育」「ヒヤリ・ハット報告書」の言葉と共にすっかり現実の世界に戻させてしまった。

あのお二人は、どんな旅をされたのだろう。荷物から帰路であったと思われるが、玄関に入り二人きりになった時、きっと「びっくりしたねえ」の会話があるにちがいない。



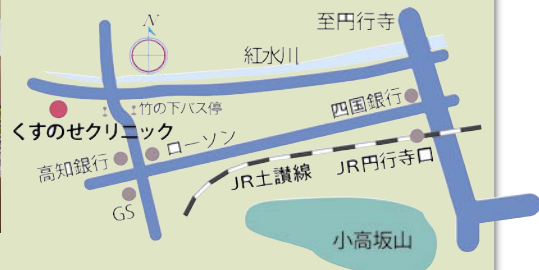
tel.088-872-2121 fax.872-2121



7月16日、土佐市生まれ。趣味は読書と「かえるグッズ」(よみがえる)



高知市福井町/北部環状線の福井の交差点にあるスーパーから南へ車で3分。円行寺踏切から西へ車で4分、道路がゆったり広くって通りやすい



今日のような高齢社会では脳血管障害など神経内科医が関わるのが有用とされる疾病が多くなります。そういった病気に対しての専門的な治療体験も活かしながら、地域のホームドクターとして、皆さまの健

康保持のお役に立ちたいと考えています。患者さんには「ものが言いやすい親しみやすさ」を大事に、緑あふれる空間で、癒しや和みを感じていただけるよう、一同努力しております。

診療科目●内科、神経内科
 診療時間●9:00~12:00 ※木曜午前と金午後休診
 14:00~18:00 ※土曜17:00まで
 休診 ●日曜、祝日

5月の診療数	近森会 外来患者数	19,775人	企画情報室より
	近森会 新入院患者数	861人	
	近森会 退院患者数	833人	
	地域医療支援病院紹介率	80.28%	
	近森病院平均在院日数	16.00日	
	近森会 平均在院日数	23.39日	
	近森病院救急車搬入件数	431件	
	うち入院件数	207件	
	手術件数	367件	
	うち手術室実施	232件	
全身麻酔件数	134件		

● 7月の歳時記 ●

じゃがいも (ナス科の多年草)

近森リハビリテーション病院受付
 文と画 藤川恵子、村田佳菜子

ジャガイモの原産地は、南アメリカ、ペルーとボリビア付近のアンデス山麓の高原地帯。2世紀かそれ以前から栽培されていたようです。16世紀に入りイギリスよりヨーロッパ各地にもたらされたジャガイモは、若芽に含まれる有毒物質のため、なかなか食用としては普及しませんでした。フランス王妃マリーアントワネットはこの花を愛し、ベルサイユ宮殿やパリの街では大流行したそうです。ごつごつとしたイメージからは程遠い可憐な五弁の白い花をつけるジャガイモ。髪や胸元に飾ってみましょう。気分は貴婦人？



図書室便り (管理棟図書室 5月受入分)

- 最新整形外科学大系 15B 手関節・手指Ⅱ/三浪明男(専門編集)・薬・毒物中毒救急マニュアル改訂7版/西勝英(監修)・薬効別薬価基準保険薬事典平成19年4月版/薬事研究会(編集)・新版電子カルテとIT医療これからの医療と病院運営のキーワードを解く/田中博・診療情報管理士の実務Q&A/日本診療情報管理機構(編集)・Patient profile 理解のためのカルテの読み方と基礎知識第4版/長澤紘一(他監修)《寄贈本》
- ACTAPATHOLOGICA JAPONICA 23 (1973)
- 看護にかかわる主要な用語の解説 概念的定義・歴史の変遷・社会的文脈/(社)日本看護協会(編集)・看護業務手順 2006年度改訂版/(社)日本看護協会(編集)・看護職の社会経済福祉に関する指針平成18年度版 就業規則編/(社)日本看護協会(編集)《別冊・増刊号》
- 別冊・医学のあゆみ 不整脈研究の最新動向/堀江 稔(編集)・別冊医学のあゆみ 児童精神医学-臨床の最前線/佐々木正美(編集)・臨床栄養別冊 食コーチング 食事相談が変わるコミュニケーションスキル/影山なお子・総合臨床 Vol.56 増刊 DATA で読み解く内科疾患/辻田賢一(他著)・泌尿器ケア 2007年夏季増刊 絶対見逃せない泌尿器科の危険サイン 50手術・放射線療法・化学療法後の観察と対応/荒井陽一(監修)《ビデオ・DVD》
- VIDEO JOURNAL OF Japan Neurosurgery vol.15 No.2/日本脳神経外科学会(監修)

編集室通信

デジタルカメラを買いました。闇のなかでも撮れるのが売り!なので、さっそくホテルの撮影に挑戦!とばかり、息子とふたり意気揚々と出かけました。が、結果は惨憺たるもので、真っ暗い闇のなかでポツと白いものが浮かんでいるだけ。機能を使いこなすのは大変です。(由似)